



2014年6月期 決算説明資料

August 29, 2014

M I C R O N &
E L E C T R O N



SUZUKI CO.,LTD. 株式会社 鈴木

東証一部 code:6785

ご報告

平成26 年7月31 日をもちまして、当社株式は、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されましたことをご報告申し上げます。

これも偏に皆様のご支援の賜物と厚く感謝申し上げますとともに今後とも変わらぬご支援ならびにご鞭撻のほどお願い申し上げます。

2014年6月期業績説明

連結損益計算書

- 主力となる部品事業において、夏以降主要顧客を中心に急激な生産調整の影響を受け、その後受注が低迷。一方、カーエレクトロニクス関連向けの需要は堅調に推移。
また、医療組立事業も引き続き順調に拡大
一方、連結子会社である鈴木東新は新工場立上費用が想定外に増加。円安の影響から受注が減少したこともあり大幅減益
- 結果、2014年6月期は増収減益

百万円	2013/6期		2014/6期		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
売 上 高	18,201	100.0	19,453	100.0	1252	+6.9
売 上 総 利 益	2,391	13.1	2,212	11.4	△179	△7.5
営 業 利 益	1,064	5.8	797	4.1	△267	△25.1
経 常 利 益	1,162	6.4	910	4.7	△252	△21.7
当 期 純 利 益	512	2.8	243	1.2	△269	△52.4

連結事業別セグメント情報

5

セグメント別売上高 計画と実績

百万円	2014/6期 計画 (1月29日修正値)		2014/6期 実績		計画比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,335	7.0	1,345	6.9	10	+0.7
■ 部品	15,236	80.0	15,441	79.4	205	+1.3
■ 電子部品コネクタ	8,368	43.9	8,358	43.0	△10	△0.1
■ 自動車電装部品コネクタ	6,868	36.1	7,082	36.4	214	+3.1
■ 機械器具	2,459	12.9	2,659	13.7	200	+8.1
■ その他	6	0.0	7	0.0	1	0.0
合計	19,038	100.0	19,453	100.0	415	+2.2

セグメント別売上高 前期比較

百万円	2013/6期		2014/6期 実績		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,273	7.0	1,345	6.9	72	+5.6
■ 部品	14,928	82.0	15,441	79.4	513	+3.4
■ 電子部品コネクタ	9,262	50.9	8,358	43.0	△904	△9.8
■ 自動車電装部品コネクタ	5,666	31.1	7,082	36.4	1,416	+25.0
■ 機械器具	1,994	10.9	2,659	13.7	665	+33.3
■ その他	5	0.0	7	0.0	2	+40.5
合計	18,201	100.0	19,453	100.0	1,252	+6.9

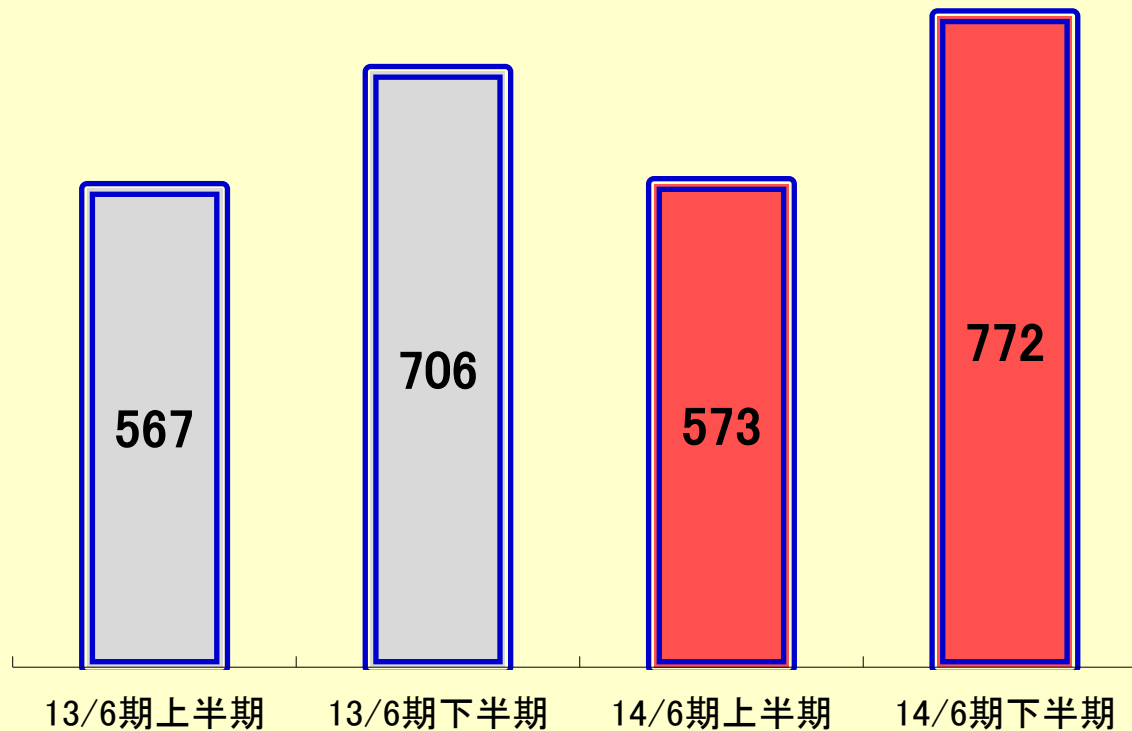
連結事業別セグメント情報：金型

6

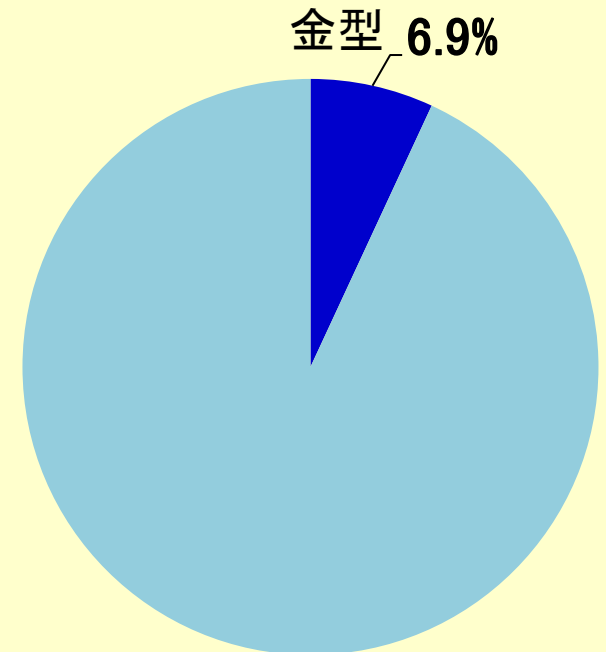
- 自動車関連向けが引き続き好調
- 社内型と外販型の比率は、52対48
- 結果、売上高は1,345百万円となり、前期比5.6%の増収

金型

単位：百万円



14/6期 連結売上に占める割合



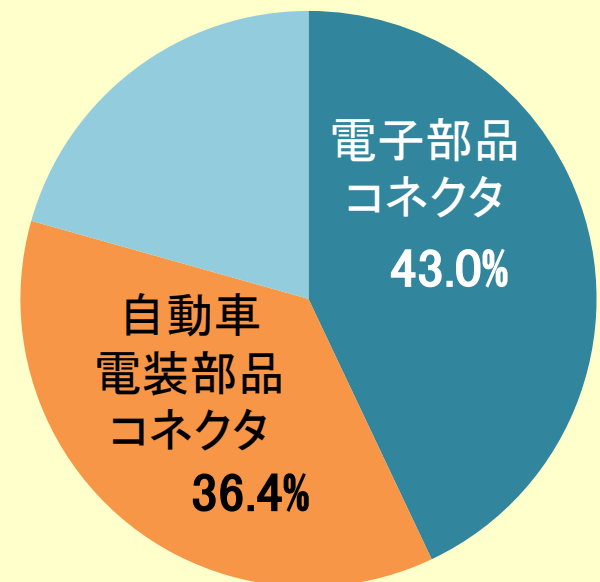
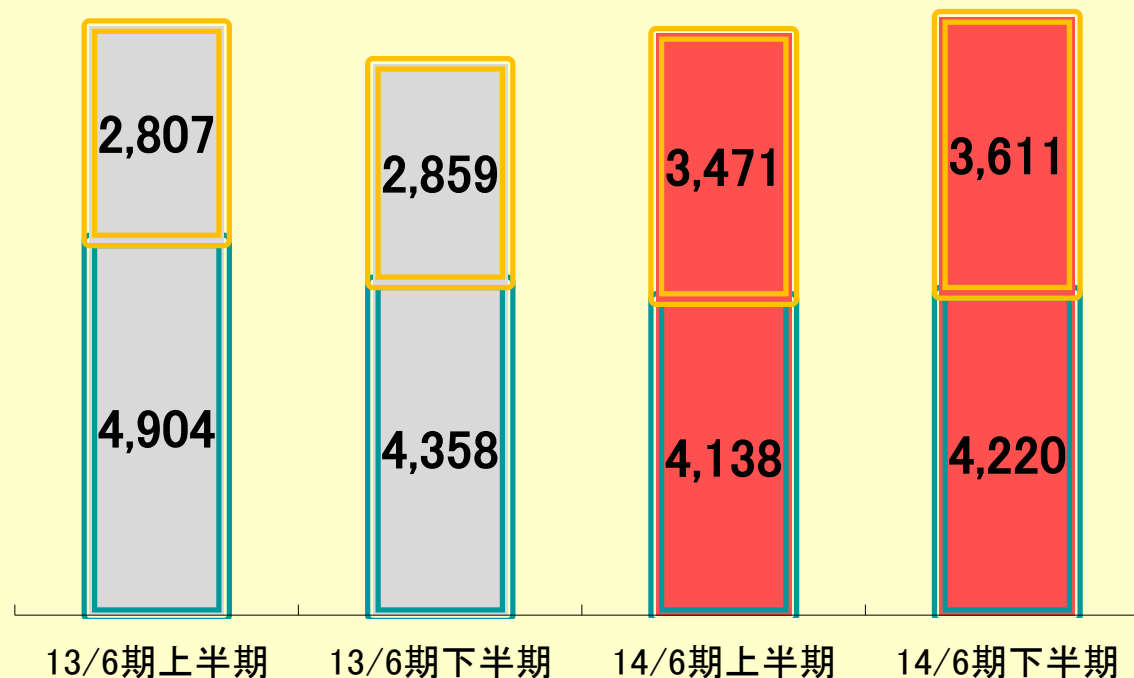
連結事業別セグメント情報：部品

- 電子部品コネクタ：スマートフォン、タブレット型端末向けを中心に活動する中、夏場以降、主要顧客を中心として急激な生産調整により苦戦
- 自動車電装部品コネクタ：旺盛な需要を背景に好調に推移
- 結果、売上高は15,441百万円となり、前期比プラス3.4%の増収

■ 電子部品コネクタ ■ 自動車電装部品コネクタ

14/6期 連結売上に占める割合

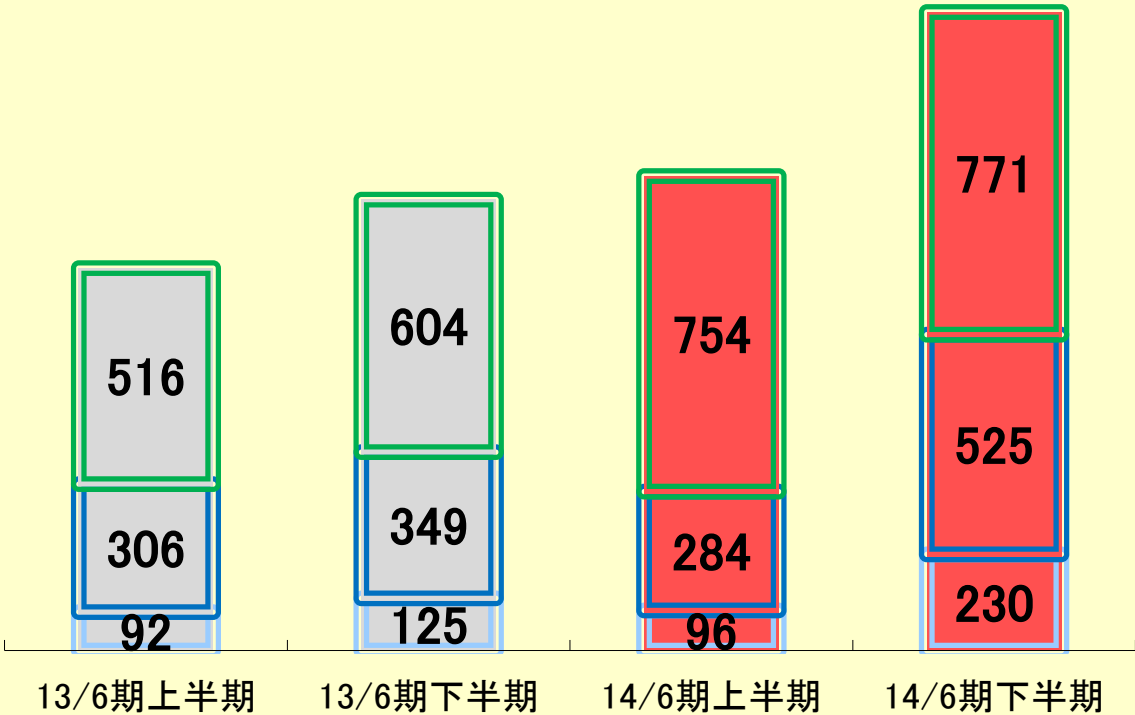
単位：百万円



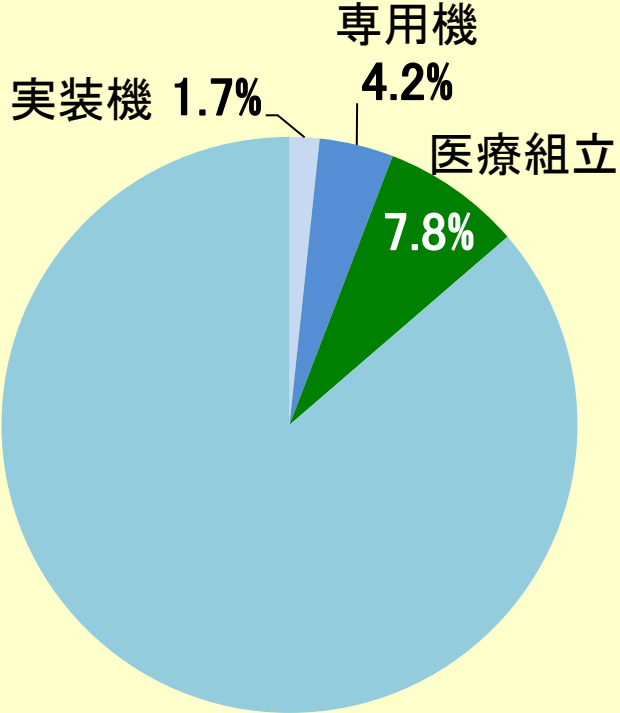
- 自動機器関連：既取引先の新たな事業分野から受注できるなど堅調に推移
- 医療組立：生産数量はアイテム1（止血バンド）、アイテム2ともに順調に拡大
- 結果、売上高は2,659百万円となり、前期比プラス33.3%の増収

■実装機 ■専用機 ■医療組立

単位：百万円



14/6期 連結売上に占める割合



連結貸借対照表

単位: 百万円	13/6期 期末	14/6期 期末	増減額
流動資産	7,648	8,359	711
現金及び預金	2,008	2,209	201
受取手形及び売掛金	3,829	4,157	328
たな卸資産	1,402	1,649	247
固定資産	9,413	9,539	126
有形固定資産	7,987	7,788	△199
無形固定資産	75	61	△14
投資その他の資産	1,350	1,689	339
資産合計	17,061	17,899	838
流動負債	4,087	4,141	54
支払手形及び買掛金	1,933	2,321	388
短期借入金+ 一年内返済予定長期借入金	1,377	902	△475
未払法人税等	211	273	62
固定負債	1,219	1,641	422
長期借入金	114	381	267
純資産	11,754	12,116	362
負債及び純資産合計	17,061	17,899	838

財務体質は
健全な水準を維持

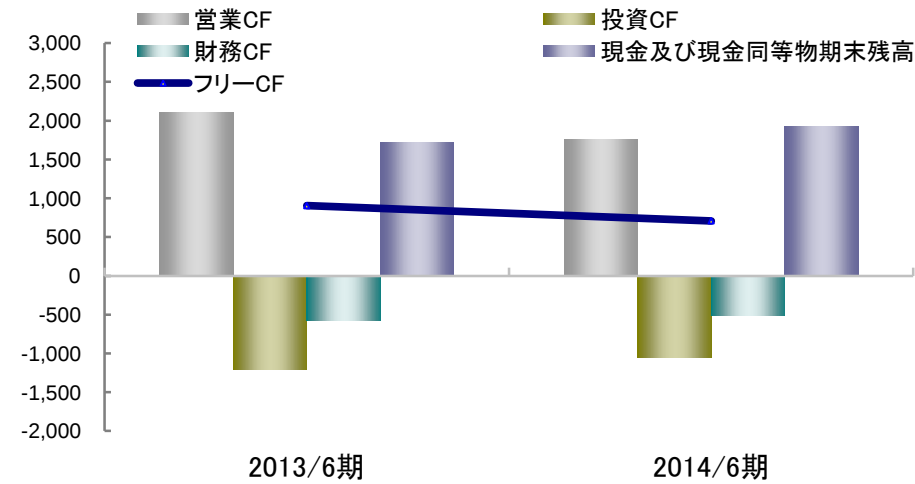
	13/6期末	14/6期末
短期借入金	1,035	686
一年内返済予定 長期借入金	342	216

有利子負債	13/6期末	14/6期末
	1,491	1,284

	13/6期末	14/6期末
流動比率	187.1%	201.9%
当座比率	142.8%	153.7%
固定比率	80.1	78.7%
自己資本比率	65.8%	64.3%

連結キャッシュフロー計算書

単位: 百万円



【営業活動によるキャッシュフローの主な項目】

税 引 前 当 期 純 利 益	849百万円
減 価 償 却 費	1,235百万円
売上債権の増減(増加: Δ)	Δ309百万円
たな卸資産の増減(増加: Δ)	Δ220百万円
仕入債務の増減(減少: Δ)	371百万円

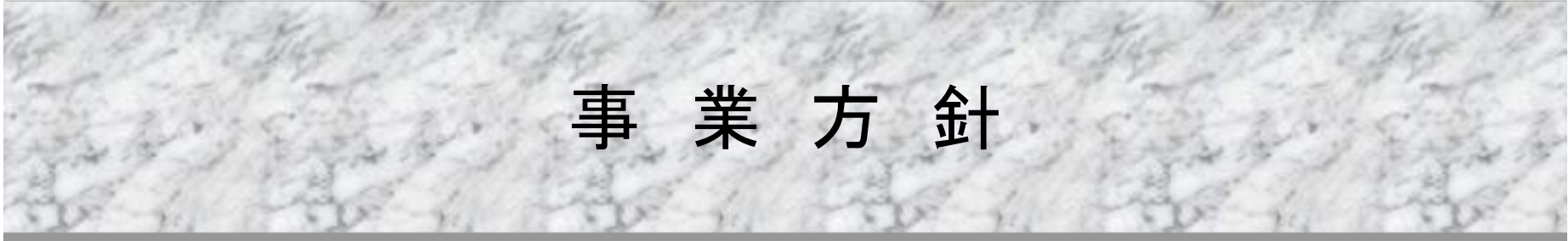
【投資活動によるキャッシュフローの主な項目】

有形固定資産の取得による支出	Δ983百万円
----------------	---------

【財務活動によるキャッシュフローの主な項目】

短 期 借 入 金 の 純 増 加 額	Δ394百万円
長 期 借 入 金 の 返 済	Δ359百万円
配 当 金 の 支 払 額	Δ166百万円
少数株主への配当金支払額	Δ181百万円

単位: 百万円	2013/6期	2014/6期
営業活動によるキャッシュフロー	2,109	1,761
投資活動によるキャッシュフロー	Δ1,205	Δ1,052
フリーキャッシュフロー	904	709
財務活動によるキャッシュフロー	Δ576	Δ515
現金及び現金同等物に係る換算差額	Δ63	5
現金及び現金同等物の増加額	264	200
現金及び現金同等物の期末残高	1,721	1,921

A horizontal rectangular banner with a marbled background pattern in shades of gray and white. The text "事業方針" is centered within this banner.

事業方針

モノ作りのNo.1を目指して

事業規模

安定成長事業

成長強化事業

保有技術の
深耕と融合自動車
電装部品コネクタ

電子部品コネクタ

金型

医療組立

車載関連
専用機半導体
装置車載向け
電子機器用
部品電子機器
製造装置メッキ
加工医療関連
専用機自社ブランド
自動機

新市場創出・新規事業

新しい技術・新しい分野

時間

モノ作りNo.1を目指して:金型

業界最高水準への挑戦

最先端の金型の追求

顧客の要望
に応える金型難易度の高い部品の生産を
実現する金型

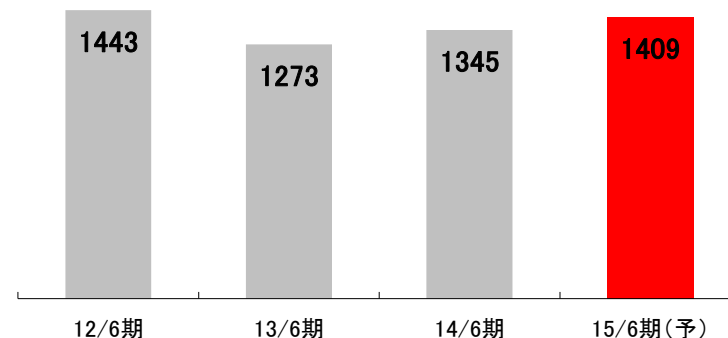
次世代の金型

量産性に優れた金型

メンテナンスフリーの金型

金型の売上推移

(百万円)

部品事業部門を
支えリードする

対応品目増

量産性向上

耐久性UP

部品事業部門

生産効率
UP受注分野
拡大

モノ作りNo.1を目指して:電子部品コネクタ

生産効率 世界NO.1へ

SPM (Stamp Per Minute) アップ

生産能力UP!

成形速度アップ

段取り時間短縮

プレス

メッキ

成形

生産性の強化

顧客メリットの追求

成形速度の向上

量産性の高い製品の
SPM向上

業界最速水準へ

インラインの強みを活かし、
ニッケルバリア加工を
通常の**半分**の工程で実現一台当り生産能力を
約1.7倍に引き上げ

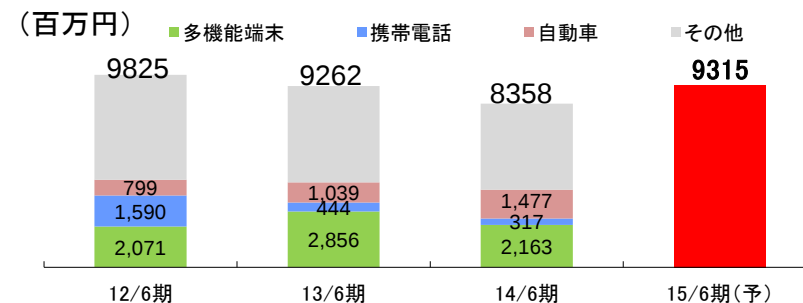
世界NO.1水準へ

小ロット化
多品種化
に対応

車載向け部品への取組強化

新たな分野での受注獲得

電子部品コネクタ = 用途別の売上推移

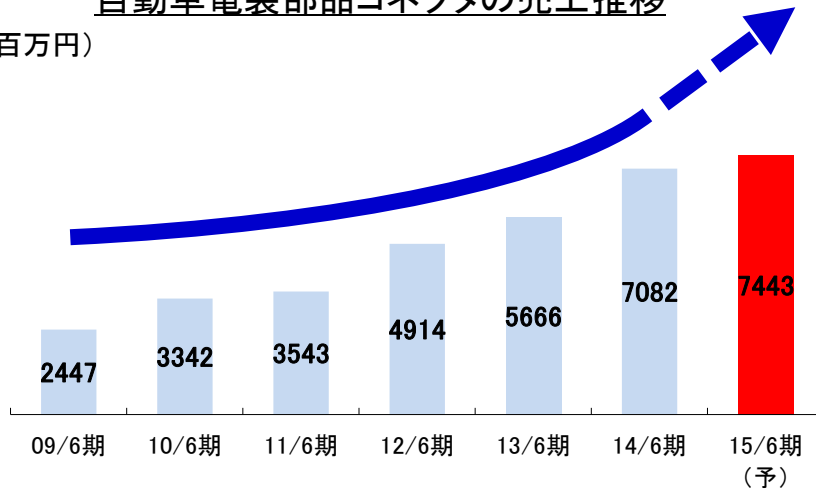


モノ作りNo.1を目指して：自動車電装部品コネクタ

顧客にとってのNo.1

自動車電装部品コネクタの売上推移

(百万円)



顧客の信頼に応える生産体制を確立、
より多くの仕事の取込みを図る。



ゼロ継続への挑戦

《安全》
障害・事故
ゼロ

《品質》
不良品
ゼロ

《納期》
納期遅延
ゼロ



競争力強化

合理化・無人化の推進

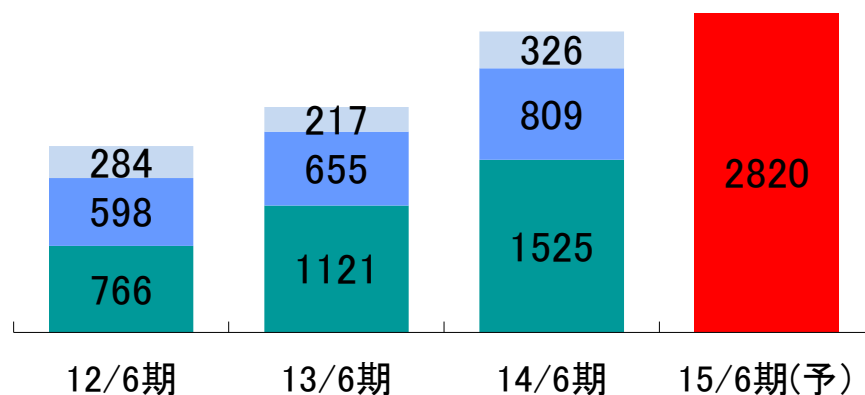
モノ作りNo.1を目指して

提案力を活かしオーダーの獲得へ

機械器具の売上推移

(百万円)

■ 医療組立 ■ 専用機 ■ 実装機



今期の取組事例

取引先開発チームへの参画

全自動化によるコストダウンの提案

新たな自社ブランド品の開発

自動機器(実装機・専用機)

自動車
関連装置電子部品
製造装置医療
関連装置

既存取引先内で横への広がり+新規取引先

医療組立

アイテム1
(止血バンド)月間生産数量: 25万本
月間生産能力: 25万本

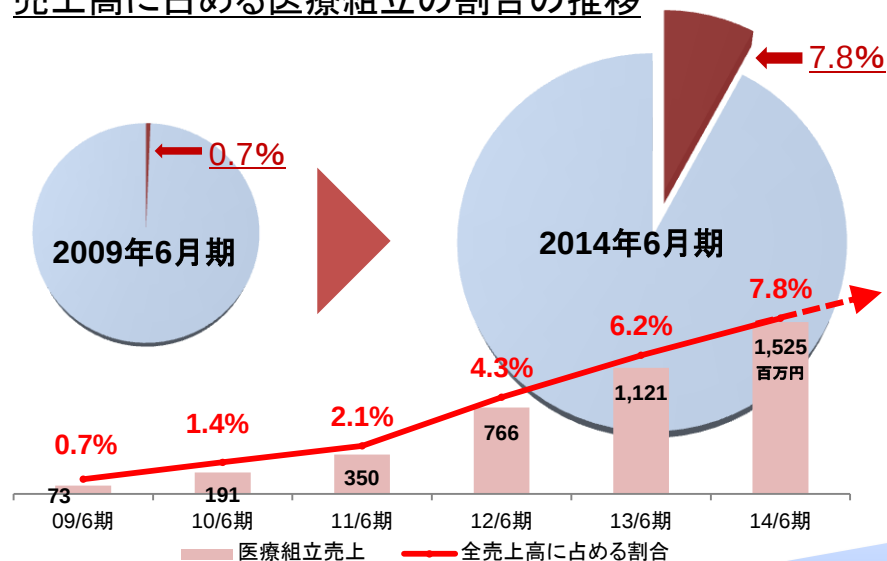
アイテム2

月間生産数量: 5.4万本
年内には7万本体制へ

モノ作りNo.1を目指して:医療組立

安定的に拡大する医療組立分野

売上高に占める医療組立の割合の推移



順調に売上が拡大
売上高に占める割合は
7.8%に

積極的な
合理化提案

顧客の
コストダウン

数量の拡大
アイテム数の
拡大

顧客標準を上回る
歩留まり率を実現

アイテム1 (止血バンド)

生産数(6月)
25万本

生産能力
25万本

稼働時間の
拡大により
26万本体制へ

アイテム2

生産数(6月)
5.4万本

生産能力
5.4万本

2014年10月
6.8万本

7万本

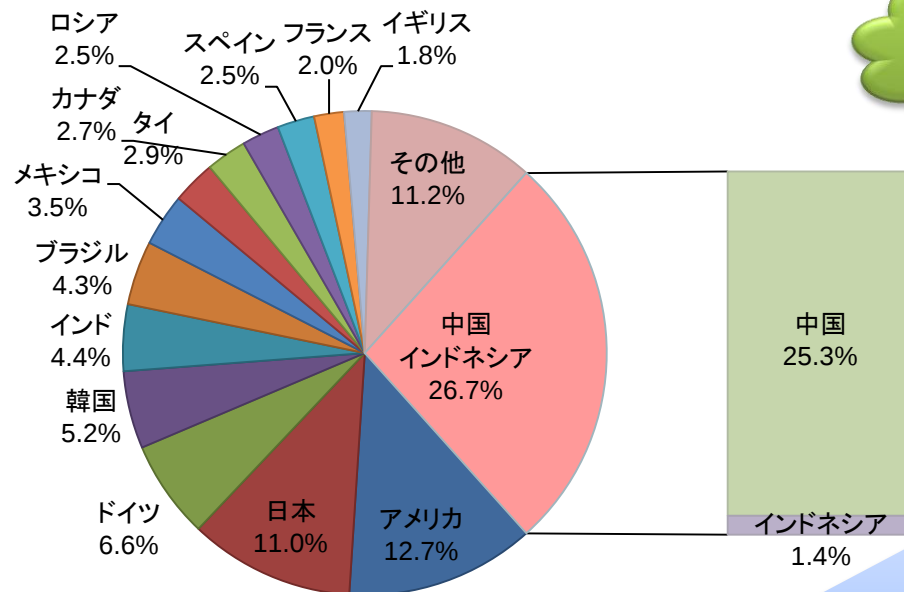
2015年5月
7.5万本

8.1万本

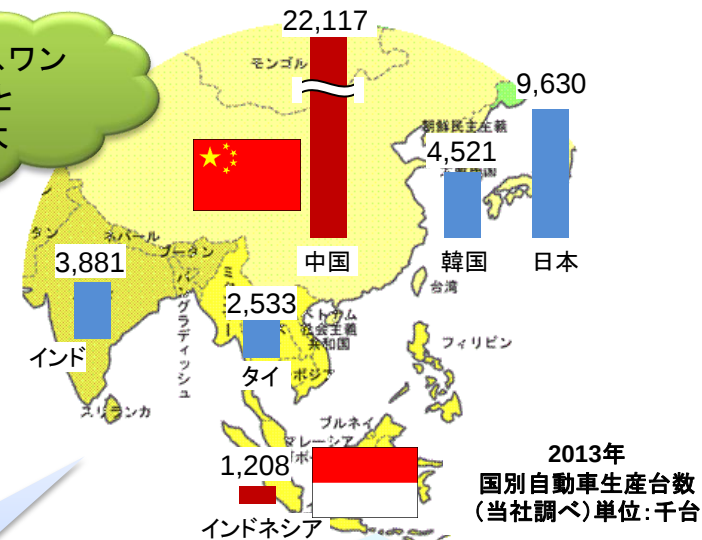
海外事業：自動車向け電装部品に注力

CHINAプラスワンでリスク軽減と収益機会拡大

2013年国別自動車生産台数シェア(当社調べ)



CHINAプラスワン
でリスク軽減と
収益機会拡大



中国新工場:2014年6月稼働

スペース
拡大

プレス対応
体制構築

メッキライン
増加

インドネシア工場:2015年稼働予定

金型
設計・製造

プレス

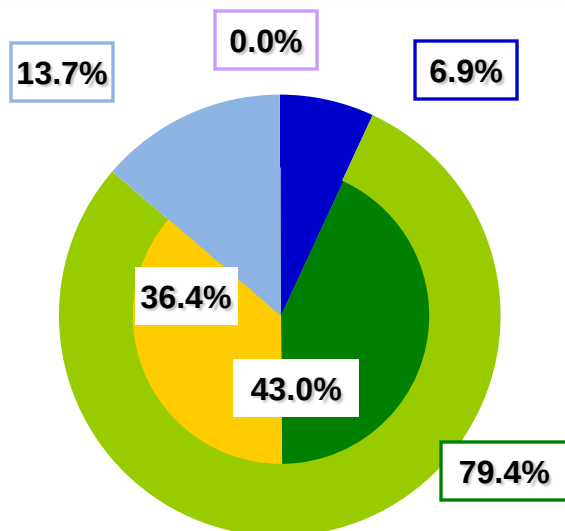
成形

金型の設計からプレス・成形までの一貫生産

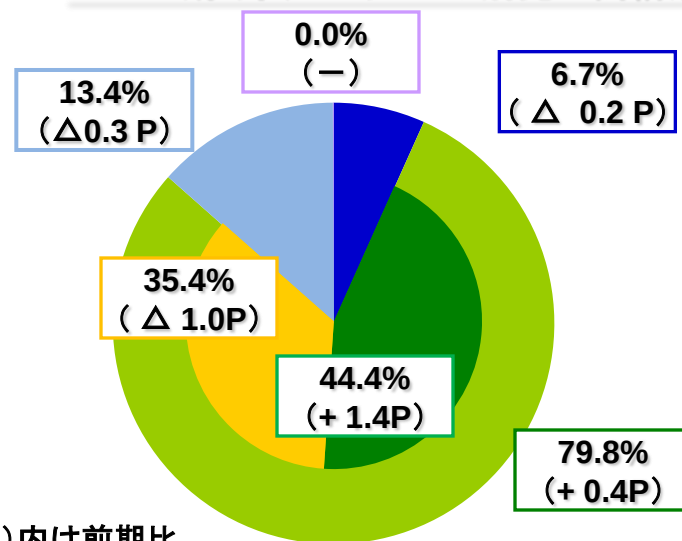
セグメント別売上高

百万円	2014/6期		2015/6期 予想		前期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
■ 金型	1,345	6.9	1,409	6.7	64	+4.8
■ 部品	15,441	79.4	16,759	79.8	1,318	+8.5
■ 電子部品コネクタ	8,358	43.0	9,315	44.4	957	+11.5
■ 自動車電装部品コネクタ	7,082	36.4	7,443	35.4	361	+5.1
■ 機械器具	2,659	13.7	2,820	13.4	161	+6.1
■ その他	7	0.0	10	0.0	3	+42.9
合計	19,453	100.0	21,000	100.0	1,547	+8.0

2014/6期 セグメント別売上高構成



2015/6期(予) セグメント別売上高構成



()内は前期比

2014年6月期

2015年6月期見通し

増減率

売上高

19,453百万円

21,000百万円

+8.0%

営業利益

797百万円

925百万円

+15.9%

下段: 利益率

4.1%

4.4%

経常利益

910百万円

954百万円

+4.9%

下段: 利益率

4.7%

4.5%

当期純利益

243百万円

362百万円

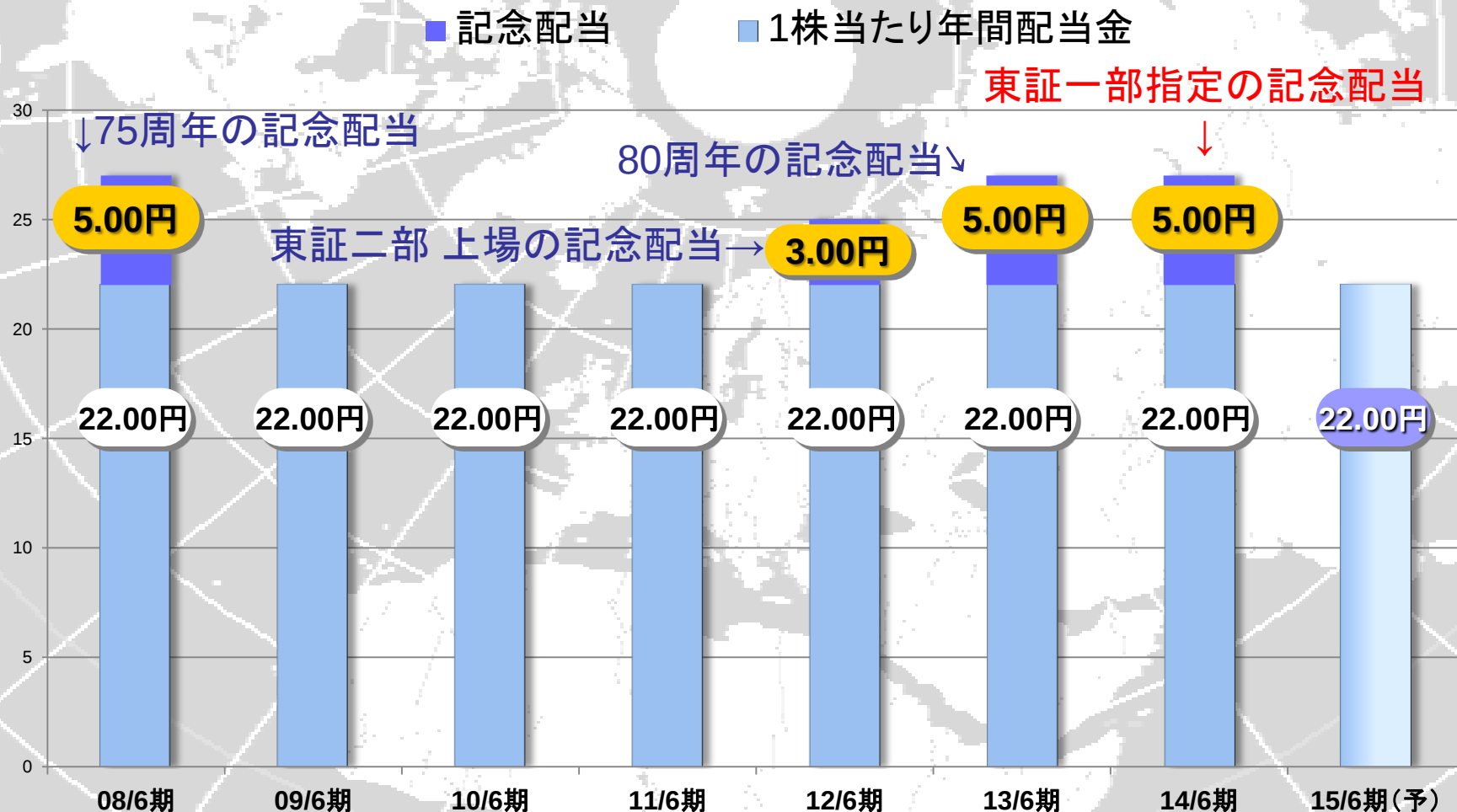
+48.7%

下段: 利益率

1.2%

1.7%

2014年6月期:東証一部指定の記念配当5円を加えて一株当たり27円の配当
引き続き、安定した配当の実施を目指します。



Being an “Only-One Company”

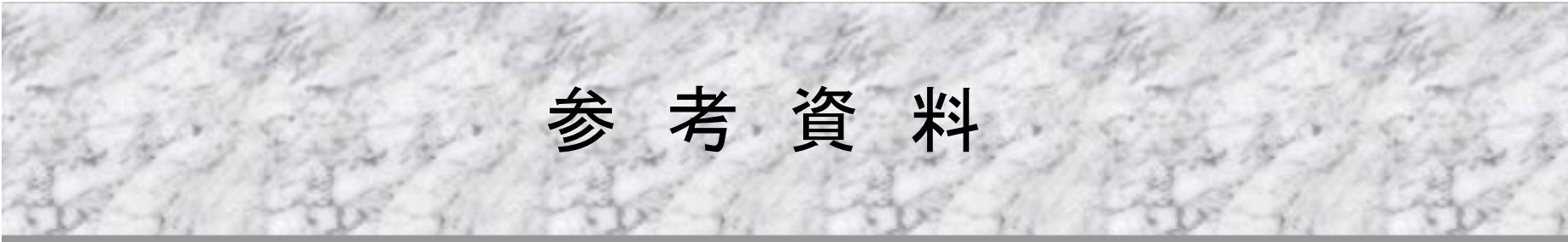
本資料は、2014年6月期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めて頂くことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2014年6月末時点のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ

ir@suzukinet.co.jp



代表取締役社長 **鈴木 教義**
専務取締役 **横山 勝登**

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, featuring swirling patterns of light gray, beige, and white. The text "參考資料" is centered within this area.

參考資料

経営理念

「不への挑戦」 微細金型技術の徹底的な精度追求 = 不可能への挑戦

商 号

株式会社鈴木

英語名: SUZUKI CO., LTD.

設 立

1933年6月10日

本 社

長野県須坂市大字小河原2150-1

上 場

2001年2月16日 JASDAQ

2014年7月31日 東京証券取引所市場第一部

証券コード: 6785

代 表 者

代表取締役社長 鈴木 教義

事 業 内 容

電子部品コネクタ、電子部品搭載装置、半導体関連装置、各種精密プレス金型・モールド金型の製造・販売

資 本 金

14億3,530万円

発 行 済 株 式 数

6,195,000株(100株単位)

関 連 会 社

【連結子会社】 国内: S&Sコンポーネンツ株式会社(持株比率: 51.0%)、中国広東省: 鈴木東新電子(中山)有限公司(持株比率: 80.0%)、中国香港: 鈴木東新電子(香港)有限公司(持株比率: 80.0%)、インドネシア共和国: PT. SUGINDO INTERNATIONAL(持株比率: 80.0%)

従 業 員

【連結】 665名 【単体】 478名 (臨時雇用者数含まず)

株主の状況

●大株主情報

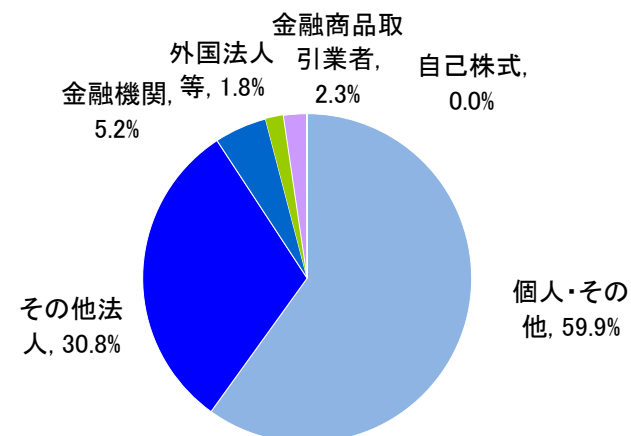
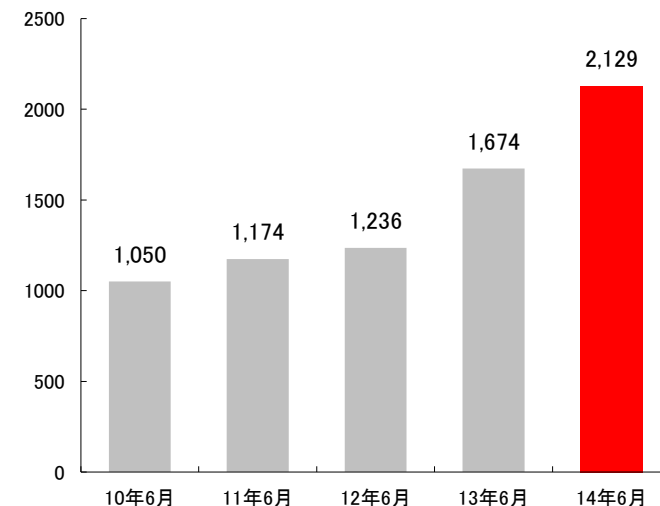
(2014年6月末日現在)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社スズキエンタープライズ	1,554,600	25.11
鈴木教義	674,720	10.89
従業員持株会	394,733	6.37
竹田和平	164,500	2.65
株式会社八十二銀行	155,000	2.50
高野忠和	147,600	2.38
小島まゆみ	104,000	1.75
水元公仁	85,000	1.37
草間秋男	84,420	1.36
鈴木照子	80,000	1.29
商工組合中央金庫	80,000	1.29

●所有者別株式分布状況

	株主数(名)	株式数(株)	株式数分布比率
個人・その他	2,054	3,713,166	59.94 %
その他法人	37	1,910,700	30.84 %
金融機関	9	319,000	5.15 %
外国法人等	9	108,740	1.76 %
金融商品取引業者	19	141,210	2.28 %
自己株式	1	2,184	0.04 %

●株主数の推移

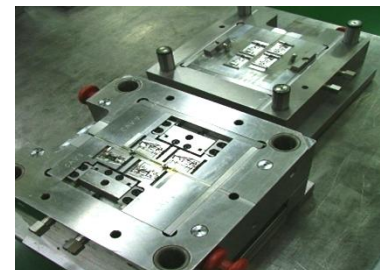
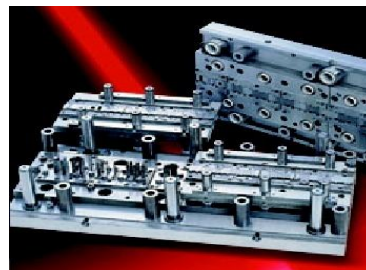
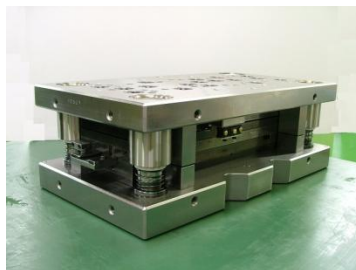


金型:

業界最高レベルの精密
金型の設計・製造

売上構成比: 7.0%

～長年の研鑽による匠の技: 当社のコア技術～

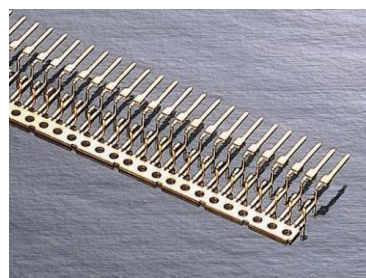


部品:

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

売上構成比: 82.0%

～金型を用いた精密部品の量産加工～



機械器具:

実装機や省力化機器の
設計開発

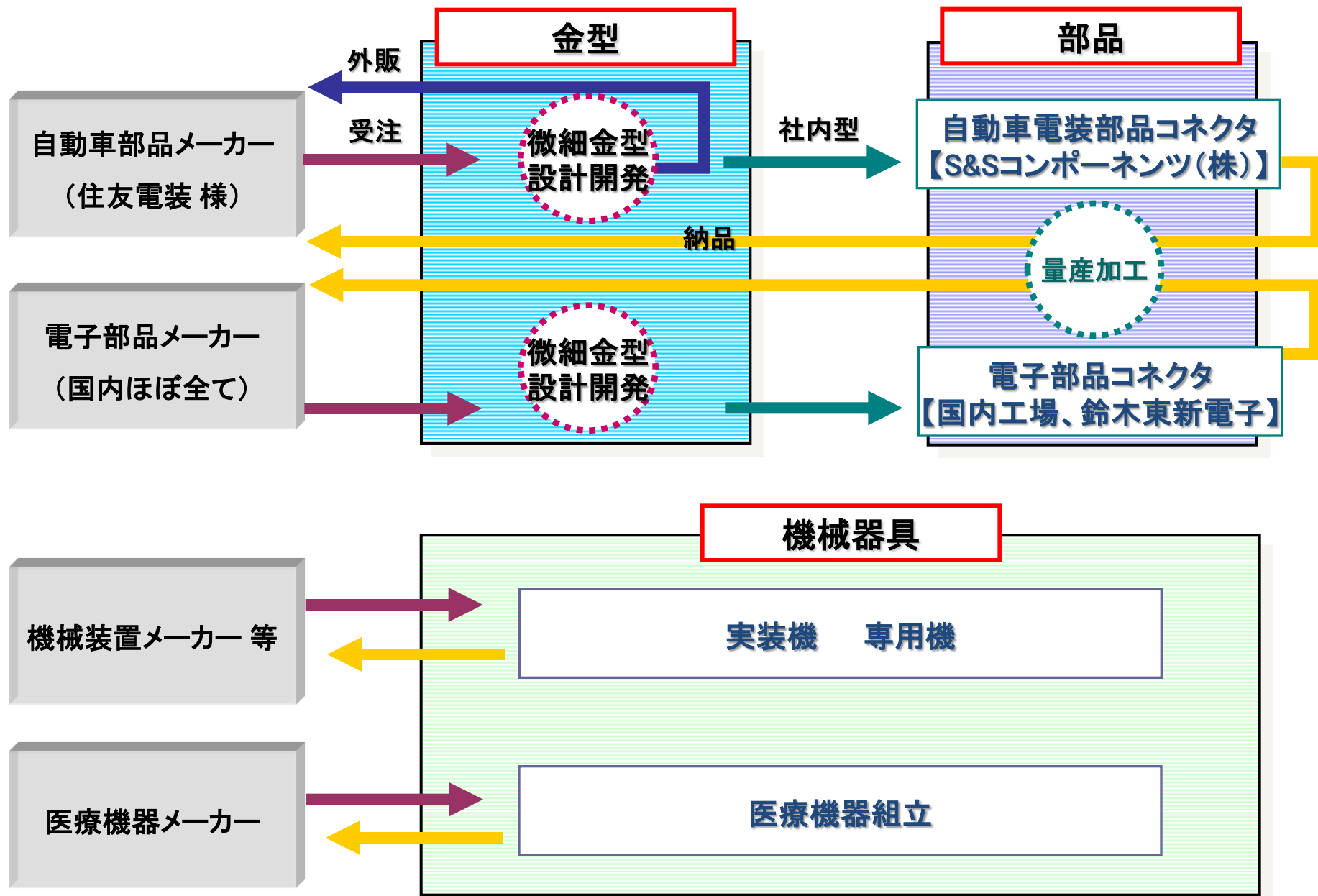
医療関連器具の組立

売上構成比10.9%

～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～



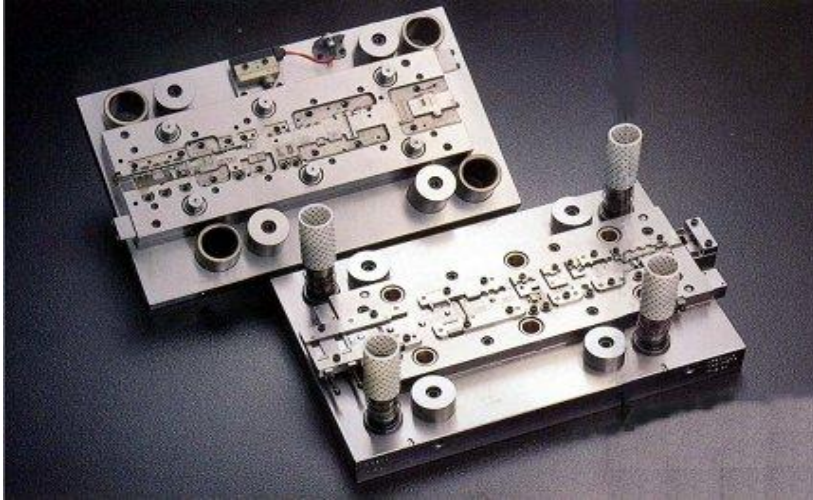
※ 売上構成比: 2013/6期の数値



「金型」と「プレス量産加工の工程」

「金型」

展開及び組付け時の金型の外観



「プレス加工」

一般的な加工工程のレイアウト

